

平成28年度入学式 福岡歯科大学109名 福岡医療短期大学106名が入学

「信頼される医療人を目指して」 新入生スタートラインに立つ

【福岡歯科大学】

4月8日、福岡歯科大学本館講堂で、福岡歯科大学口腔歯学部大学院の平成28年度入学式が執り行われ、福岡歯科大学口腔歯学部97名、大学院12名の総勢109名の新入生を迎えました。

式典では緊張の面持ちで入場した口腔歯学部新入生に対し、石川博之大学長は「医療人として社会に貢献するという高い志を、講義や実習をとおして、教員とのふれあいの中で、友人との語り合いの中で、あるいは病院での実習をとおして育てられ充実した学生生活を送って下さい。6年後には、自分自身に誇りをもつて語れるような学生時代を過ごしてほしいと思います。」と式辞を述べるとともに、大学院入学生に対しては「指導教員の指導のもと、いろいろな課題を乗り越えて、歯科医学に



式辞を述べる
大学長

新風を吹き込むようなすばらしい成果を挙げていただきたいと思います。将来、第線で活躍する研究者を目指す、あるいは、高度な医療を展開するリサーチマインドをもった優秀な臨床医を目指して、充実した大学院生活を送ってください。」と期待を寄せました。

また、水田祥代理事長は新入生に「口腔医学のフロントランナーとし

て教養と良識を備えた有能な歯科医師の育成を目指す本学で、これからのいろいろな知識や技能を学んでください。今日、皆さんが各自抱いている夢や希望を実現させるために、この学び舎で意義のある学生生活を送られることを期待しています。」と述べ、学園の一員となった新入生たちへ激励の言葉を贈りました。

【福岡医療短期大学】

4月6日、福岡歯科大学本館講堂で、福岡医療短期大学の平成28年度入学式が執り行われ、歯科衛生学科71名、保健福祉学科15名、専攻科20名の総勢106名の新入生が入学しました。式辞の中で栢豪洋短大



式辞を述べる
短大学長

学長は「歯科衛生士や介護福祉士になるため知識や技術を詰め込んで手足の動きや口の動きを診るだけでなく、患者の少しの変化にも気づくことのできる歯科衛生士や介護福